

# 岩手県 | 援隊だよ!

岩手県 (釜石) 派遣隊だよ!

(「I 援隊しずおか」より)

岩手県下閉伊郡田野畑村 北山崎

県民みんなで 力を合わせ 希望に向かって 一歩ずつ

**がんばろう! 岩手**

Vol. 51 (平成 28 年 8 月 31 日)

## ■ 「いわて復興人」 達増拓也岩手県知事とポスター撮影

東日本大震災津波の記憶の風化が懸念される中で、岩手県では復興に向けてひたむきに取り組む県内外の人々を紹介する広報事業を行っています。震災から5年が経ち、本格復興完遂年と位置づけている今年度は、岩手県の達増拓也知事と私たち他県の応援派遣職員が復興支援により「つながり」、そして今後も続く岩手県復興への「思い」を伝えるポスターを製作するため、釜石市内 (片岸海岸防潮堤工事の施工現場) で集合写真の撮影を行いました。

製作されたポスターは、今後県外への広告等で活用される予定です。

被災地の現状と復興支援に取り組む応援派遣職員の姿を、多くの方に知っていただき、復興への継続的な支援につなぐことができれば幸いです。



写真中央 達増拓也知事、前列右端より鈴木(広)主査、金子技師、中列右から2番目より齊藤主査、岩井主査、後列左端 鈴木(健)主査、左から4番目 植田主査

## ■ 吉林副知事及び渡邊交通基盤部部长代理が視察に訪れました。

8月4日に吉林副知事は静岡県派遣職員6名が配属されている岩手県沿岸広域振興局を訪れ、小向沿岸広域振興局長と沿岸部の復興状況について意見交換を行いました。その後面談において静岡県派遣職員は副知事からを激励の言葉をいただきました。

また、8月19日には渡邊交通基盤部部长代理が沿岸広域振興局を訪れました。静岡県派遣職員的生活状況並びに、担当する大槌川・小釜川水門、片岸海岸及び鵜住居川水門の各工事現場を視察し、復興事業を進める上での課題や被災地の再建の難しさを説明させていただきました。



吉林副知事と面談を行う派遣職員



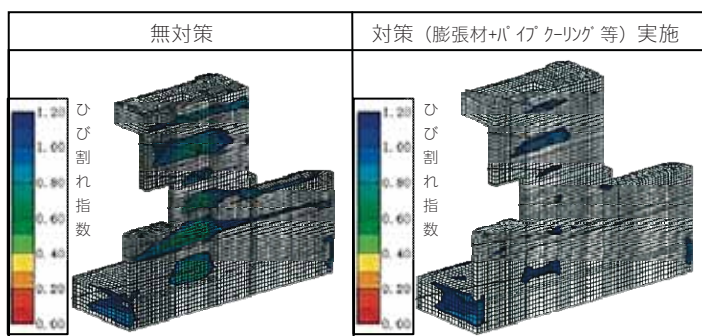
大槌町の復興状況を説明する鈴木(健)主査



鵜住居川水門工事を説明する植田主査

## 『甲子川水門工事』水門堰柱部のコンクリート打設に着手

静岡県派遣職員が担当する甲子川水門工事では、7月15日より水門本体-堰柱部のコンクリート打設に着手しました。今後も他現場とコンクリート供給の調整を行いながら11月までに約8,200m<sup>3</sup>の打設を行います。水門本体部のコンクリートは部材寸法が大きく、セメントの水和熱に伴いひび割れを生じる可能性が高くなるため、打設にあたってはひび割れ抑制対策を講じながら施工を進めています。



コンクリートポンプ車2台による打設状況（P1 堰柱）



冷却水を循環させるクリーグバイク

上) 鉛直バイクリーグにより躯体内部からコンクリートの温度上昇を抑制する様子

左) 事前に行った温度応力解析結果（参考）  
（ひび割れ指数=引張強度/発生引張応力）

## 『i-Construction (ICT)』の活用

東日本大震災の被災地では、まちづくりや海岸等の大規模工事が同時期に集中することに伴い、技術者や労働者の不足、建設資材の確保、建設発生土の土量調整等が最重要課題の1つとなっています。被災3県では、建設現場の生産性向上につながるICT（情報通信技術）の活用について先進的に取り組み、震災復興の更なる推進を図っています。

### 『UAV（ドローン）による空中写真測量』

岩手県では、復旧・復興事業における仮置き場土砂の計測にあたり、UAV（ドローン）を用いた空中写真測量を試行導入しています。8月2日、沿岸広域振興局は同局職員及び地元建設業者を対象に土砂仮置き場における測量見学会を開催しました。当日は、やませによる霧が発生し、UAVの監視に影響を及ぼしたため自律飛行の運航は中止となりましたが、今後活用が期待される建設ICTの最新動向を間近で学ぶことができました。

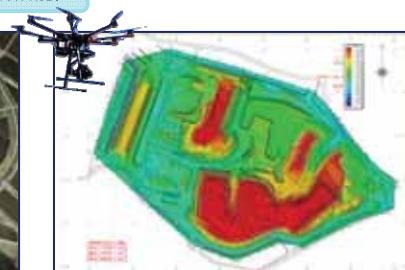


霧のため低空を飛行するUAV

昨年度の実施事例（UAVの自律運航機能）



写真測量飛行計画



データ解析結果



## ■ 森と湖に親しむ旬間「日向ダム湖畔の集い2016」開催

岩手県が管理する日向ダムにおいて、自然豊かな周辺空間や社会生活に果たしている役割を、県民の方々に理解を深めていただこうと、ダムの施設見学やダム湖面パトロール等のイベントを開催しました。

右) パト船に乗る植田主査ご夫妻(左側)と岩井主査(右)  
下) 静岡県の魅力を伝える鈴木(健)主査(左中)



当「日向ダム湖畔の集い」は、ダムが完成した平成9年から開催されています。平成23、24年は中止しましたが、平成25年から再開し、今年で18回目の開催となります。静岡県派遣職員は、地元とふれあいながら静岡県の魅力をPRしました。

## ■ 釜石市の夏祭り「釜石よいさ」に参加！

8月6日、夏の風物詩「釜石よいさ」が開催されました。沿岸広域振興局は有志によりチームを編成し、熱気溢れる踊りとともに復興推進の意気込みと10月に開催される「いわて国体」のPRを行いました。静岡県からは植田主査ご夫妻が参加し、市内全体と1つになって熱い釜石を盛り上げました。



希望郷いわて国体をPRする植田主査(中央)

## ■ 「県土整備部サッカー大会」にも参戦！！



沿岸広域振興局土木部チーム

8月20日、岩手県県土整備部サッカー大会が開催されました。沿岸広域振興局土木部チームは昨年準優勝の雪辱を果たすため万全を期して臨みましたが、準決勝後半で県庁チームに逆転を許し、準決勝敗退に終わりました。結果はともかくこの大会によりチーム内の絆、そして他チームとの交流を深めることができ、充実した1日となりました。

平成28年度 岩手県派遣メンバー

岩手県 沿岸広域振興局 土木部

復興まちづくり課 復興第三チーム：鈴木健支、鈴木広和、植田勝久、

齊藤達矢、岩井博靖、金子裕紀

(本号編集者 金子)